TNo.064

取扱説明書

Takada Bed

ＨＰベッドシリーズ

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
ここに示した事項は安全にお使いいただくことにより、事故を未然に防止するためのものです。

区　分	危険や損害の大きさと切迫の度合い
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定されます。

⚠警告	本製品を設置する際には、必ず平らでしっかりした床の上に設置してください。傾いた場所に設置しますと本製品が転倒する恐れがあります。
	本製品をリクライニング・脚あげを行う場合は、寝ている患者様やまわりの人の身体や手足、障害物が無いか十分注意してください。本製品に挟まれ、人身事故や物損事故等の原因となります。
	改造や分解修理は絶対にしないでください。事故・けがの原因となります。

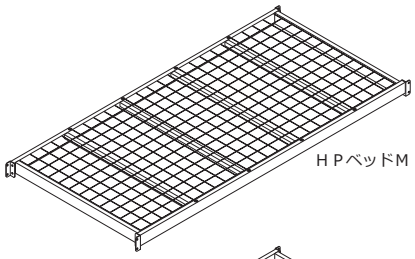
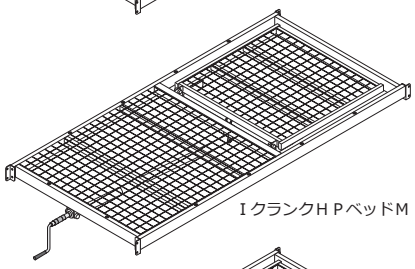
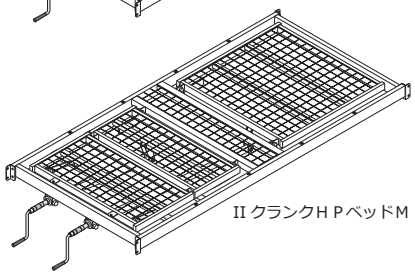
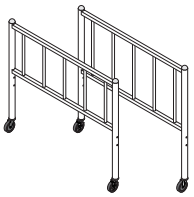
⚠注意	ご使用の際、粉体塗装面が外れることにより、金属音“パチン”と鳴る場合がございます。製品自体の強度には関係なく、使用上の問題はございません。予めご了承ください。
	使用前に各部が正常かつ安全に作動することをご確認ください。
	ゆるみ、がたつき、傾き、音等に常に注意して、点検を行ってください。また少しでも違和感を感じたときはご使用を中止してください。
	本製品の用途以外には使わないでください。事故や故障の原因となります。
	ご使用中に異常な揺れが発生したら、使用を中止し、各部の締め付けボルトの再点検を行ってください。又、改善されない場合は、ご購入代理店にご相談ください。
	クランクハンドル操作時に指を挟まないよう十分注意してください。
	通常、キャスターは常温、構内で使用される事を想定しております。高温、低温、多湿、酸、アルカリ、塩分、溶剤、油、海水、薬品等の影響を受ける特別な環境でのご使用は避けてください。製品の劣化が進む恐れがあります。やむをえず、ご使用になる場合は個々の用途に合わせた金具、車輪、グリスが必要です。尚、材質により床面に汚染の恐れがあります。
	キャスターは消耗品のため、劣化、破損等の不具合が生じた場合は、ただちに交換してください。
	アジャスターゴム、脚部キャップ及びキャスターの樹脂等によって、床材と床の表面処理材（ワックス等）が化学反応を起こし、変色する恐れがあります。設置場所等には十分ご注意くださいますようお願いいたします。

株式会社 高田ベッド製作所

〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜 2 番地 27
TEL. 072-484-8800 ㈹
URL　http://www.takada-bed.co.jp/
お客様相談室：フリーダイヤル 0120-62-2382

部品一覧表

● 最初に下記の部品が揃っているかご確認ください。

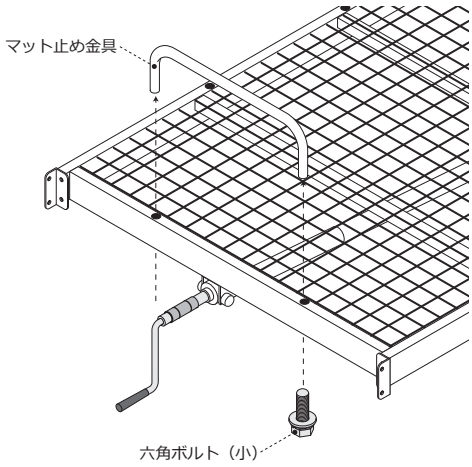
部品図	部品名	個数	部品図	部品名	個数
 ＨＰベッドM  Ⅰクランク ＨＰベッドM  Ⅱクランク ＨＰベッドM	床板	1		脚部	2
				マット止め金具	1 ※
				六角ボルト（大）	8
				六角ボルト（小） （平ワッシャー／Ｓワッシャー付き）	2 ※
				平ワッシャー	16
				Ｓワッシャー	8
				袋ナット	8
				ボルトキャップ	8
				スパナ	2

※Ⅰクランク ＨＰベッドM・Ⅱクランク ＨＰベッドMのみ

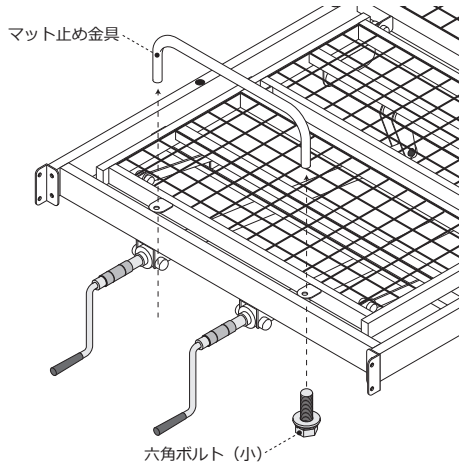
組立方法

● 組立時間：約 20 ～ 40 分　※お二人以上での組立をお薦めします。

①床板にマット止め金具を取り付けます。（※Ⅰクランク ＨＰベッドM・Ⅱクランク ＨＰベッドMのみ）



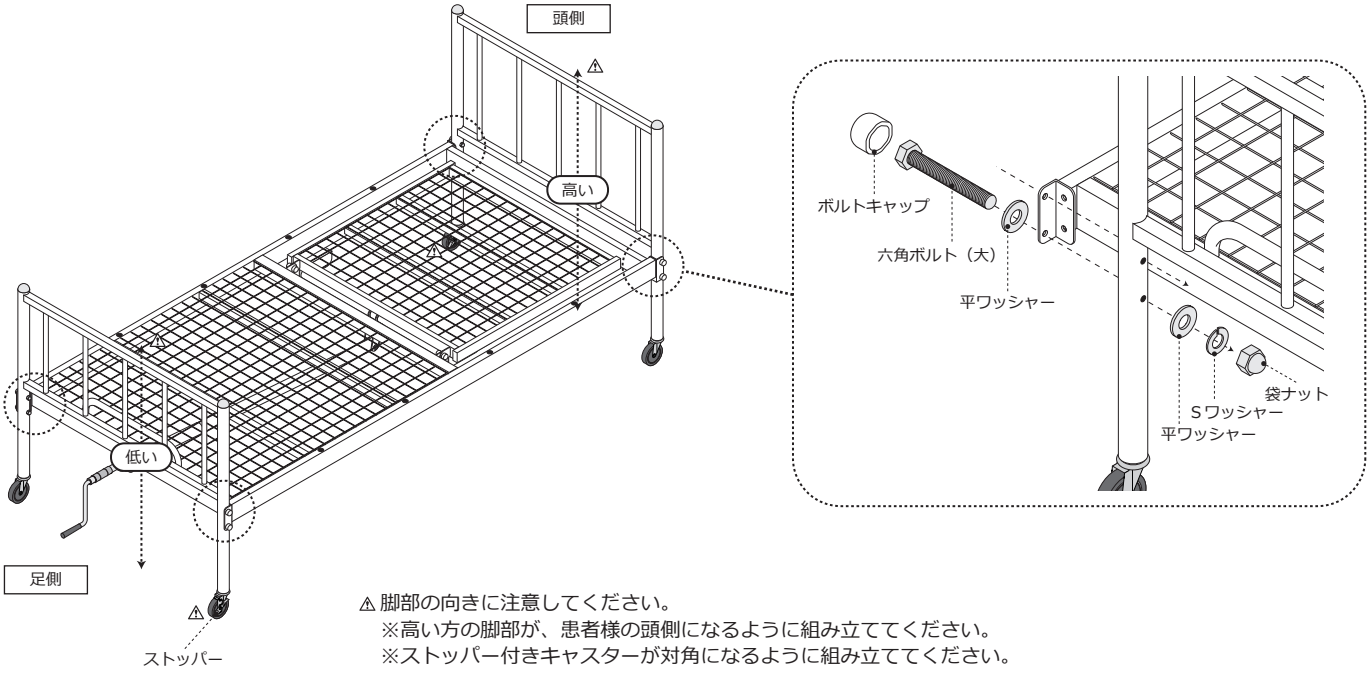
■Ⅰクランク ＨＰベッドM



■Ⅱクランク ＨＰベッドM

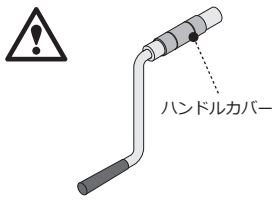
組立方法　● 組立時間：約 20 ～ 40 分　※お二人以上での組立をお薦めします。

②下図のように、床板と脚部を六角ボルト（大）で組み立ててください。
※全てのボルトを仮止めし、その後付属のスパナで本締めをしてください。
※ボルト締め付け後、ボルトキャップを取り付けてください。

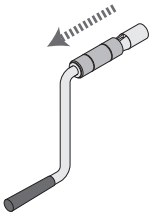


⚠脚部の向きに注意してください。
※高い方の脚部が、患者様の頭側になるように組み立ててください。
※ストッパー付きキャスターが対角になるように組み立ててください。

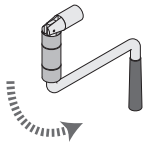
クランクハンドルの収納方法



※操作時には必ずハンドルカバーだけを持って操作してください。ハンドルカバー以外の部分を持って操作すると、手をケガする 恐れがあります。

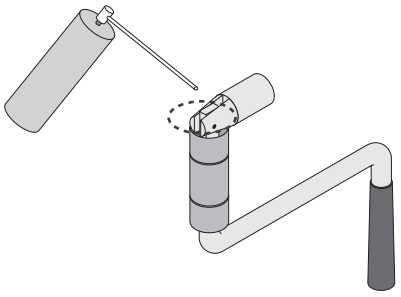


①ハンドルカバーを握り、手前に引きます。



②手前いっぱいまで引いた状態で下に折るような感じで下げます。
③ハンドルを広げる場合は逆の手順で操作してください。
④ポジションをセッティング後、ベッドを使用する際にはハンドルを必ず収納した状態でご使用ください。ハンドルにつまずき、転倒する恐れがあります。
※操作時に指を挟む恐れがあります。ご注意ください！

定期メンテナンスのお願い



1 年に数回、またハンドルカバーの動きが悪い場合、（　）部分に市販の潤滑スプレーを吹き付けてください。